

おかげさまの心で
温かい朝食を佐藤佳子さん(74)
秋田教会

秋田県由利本荘市の中心地から東に約十キロ、石沢地区の国道一〇七号線沿いに、午前五時から九時までの朝だけ営業する食堂「石沢屋」がある。取材に訪れた日、一番人気の日替わり「朝定食」には、白米に自家製みそきのこ汁、大根の漬物、レバーフライにサラダ、白菜のおひたしとかぼちゃの甘酢餡かけ、デザートのパイナップルが並んだ。

店主の佐藤佳子さんは「温かい料理でホッとしてもらえたら」と笑顔を見せる。朝定食のほか、「麦とろろご飯」「もつ煮込定食」も好評。佐藤さんが畑で育てた野菜や近くで採れた山菜を使い、実母のワカさん(享年85)から受け継いだ「家庭の味」を心を込めて提供する。

佐藤さんは長年、鳥海山の東麓にある法体の

滝の前で、夫の司さん(75)と実母とでレスト

ハウスを営んでいた。だが、ダム建設で集落が水底に沈むため、自宅ともども移転を余儀なくされた。移住した当初、故郷を離れた切なさが大きく、店の再開などは考えもしなかった。そんな中、「こんなときこそ仕事しては」と長男の孝征さん(50)に背中を押され、開店を決意。二〇二三年七月に現在の店をオープンした。店名は、地域に根づくようにと地域名を取った。

一日の始まりに栄養満点の食事を提供するため、営業日の仕込み作業は午前三時から。忙しい日々で大切にしているのは「何事も当たり前ではなく、おかげさま」の心だ。感謝の思いで食堂を営めているのは、立正佼成会秋田教会で、多くの人に支えられて生かされていることを学んだからだという。『おいしい』と喜んでもらえることが原動力。元気なうちは続けたい」と佐藤さん。客の心とおなかを満たすため、今日も夜明け前から厨房に立つ。



石沢屋
〒015-0081
秋田県由利本荘市雪車町字元岡田 150-1



*立正佼成会経営者サンガネットワーク「六花の会」

<https://rikkanokai.jp/community/>

2月1日から上記ウェブサイトでもこの記事がご覧いただけます。